

平成24年度第1回鎌ヶ谷市環境審議会 会議録

日 時 平成24年12月13日(木) 午前10時～正午
場 所 総合福祉保健センター4階 会議室
出席委員 恵 小百合、葛山 繁隆、高橋 渡、田口 和男、菅野 勝利、大内 英典
齋藤 弘誌
欠席委員 長谷川 雅美、三好 正夫
事務局 右京環境課長、佐山クリーン推進課長、山崎環境課主幹、
白藤環境課副主幹、横山主事、山田主事(環境課)

1 委嘱状交付式

会議に先立ち委嘱状の交付式が行われ、市長から委嘱状が各委員に交付された後、市長から挨拶があった。

2 平成24年度第1回鎌ヶ谷市環境審議会

(1) 開会

正副会長が選出されるまで、事務局が議事を進行。
本日は、鎌ヶ谷市環境審議会規則第3条第2項規定の定足数に達していること及び傍聴希望者がいないことを報告。

(2) 議事

会長・副会長の選出

鎌ヶ谷市環境審議会規則第2条第1項の規定により、委員の互選により会長に恵委員、副会長に菅野委員が選出された。

会議記録形式の決定

会議録は要点筆記、氏名表示については、A、B、C表示とする。
公開前に会長及び署名人が確認を行う。
本日の会議録署名人は会長、副会長を除いた名簿順により、葛山委員、高橋委員となった。

鎌ヶ谷市環境基本計画改定の進捗状況について

事務局より環境基本計画策定のスケジュールを説明。

(会長)

パブリックコメントはいつ頃終わるのか。

(事務局)

1月7日位に始めて2月6日位に終わる予定で考えている。

第2回鎌ヶ谷市環境審議会の日程についてパブリックコメント後の開催をお願いしたい。

(会長)

次回の環境審議会の日程が2月にずれると、その後の答申及び計画の決定など2月下旬の日程もずれるのではないか。

(事務局)

ずらすことは可能である。開催日時はメール等で各委員と調整させていただきたい。

(A委員)

前回のパブリックコメントは何件くらいあったのか。

(事務局)

数件程度であった。

鎌ヶ谷市環境基本計画素案について

事務局より素案について説明の後、会長より「環境共生都市」について説明があった。

(B委員)

素案の景観のところでは自然環境的な景観がメインに書かれているが、景観には道路、橋梁、建築物、電柱、送電線なども含まれる。ある報道では屋根瓦に設置しているソーラーパネルを禁止する条例制定の動きがあると聞く、その辺についても触れておいた方が良いのではないか。

もう一つは、緑について多くうたっているが緑も3から4分類に分けて考えられると思う。一つ目は生物多様性において最も重要な森林・水辺、二つ目は人の手で営まれている農地・植林地など三つ目は公園・街路樹などに分類できると思う。

その他として社寺林、屋上緑化、庭などがある。よってある程度緑についても一括りにしないで分けて考えた方が良いのではないか。元々そこに生きていた生

物を復元させる機運が高まる中、そうした緑を重点的に配慮することを考えていかなければならないと思う。

(C委員)

環境の現状を分析した中での課題や問題意識を入れた方が、後に出てくる行動目標や行動項目へのつながりが分かりやすいのではないかと。

(事務局)

アンケート等を踏まえ、評価し反映しました。

(会長)

現状と課題の分析については、どのように記載しているのか。

(事務局)

1例を挙げると、資料1環境基本計画(素案)のP7の航空機騒音、自動車交通に伴う幹線道路周辺の騒音が問題となっている。この記載は、アンケートでの環境問題の上位にあり、かつ、環境の概況として毎年公表している。また、資料編では実施施策について評価指標を記載するなど具体的な手段を明示した。

(D委員)

アンケートの回答者には高齢者が多い、ホームページで公表した場合60歳から90歳の高齢者を考慮し、どういう方法で知らせていくのか考える必要がある。

また、現在、梨農家の後継者不足で多くの畑がなくなっている。緑地を残すには農家の後継者を育てた方が利にかなっていると思う。田畑を残せば自然に動植物も戻ってくる。このようなことを地道に実施しないとすぐには解決しないのではないかと。

まず実施できることから考える必要がある。貝柄山公園の斜面緑地は10年ほど前に策定したレインボープランでは市が買収し保全することになっていたと思うが、現在は擁壁を作って家が建っている状況である。

(会長)

他に意見等なければ、以上で平成24年度第1回鎌ヶ谷市環境審議会を閉会する。

以上、会議の経過を記載し、相違ないこと証するため、次に署名する。

平成25年2月18日

署名人 高橋 渡

署名人 葛山 繁隆